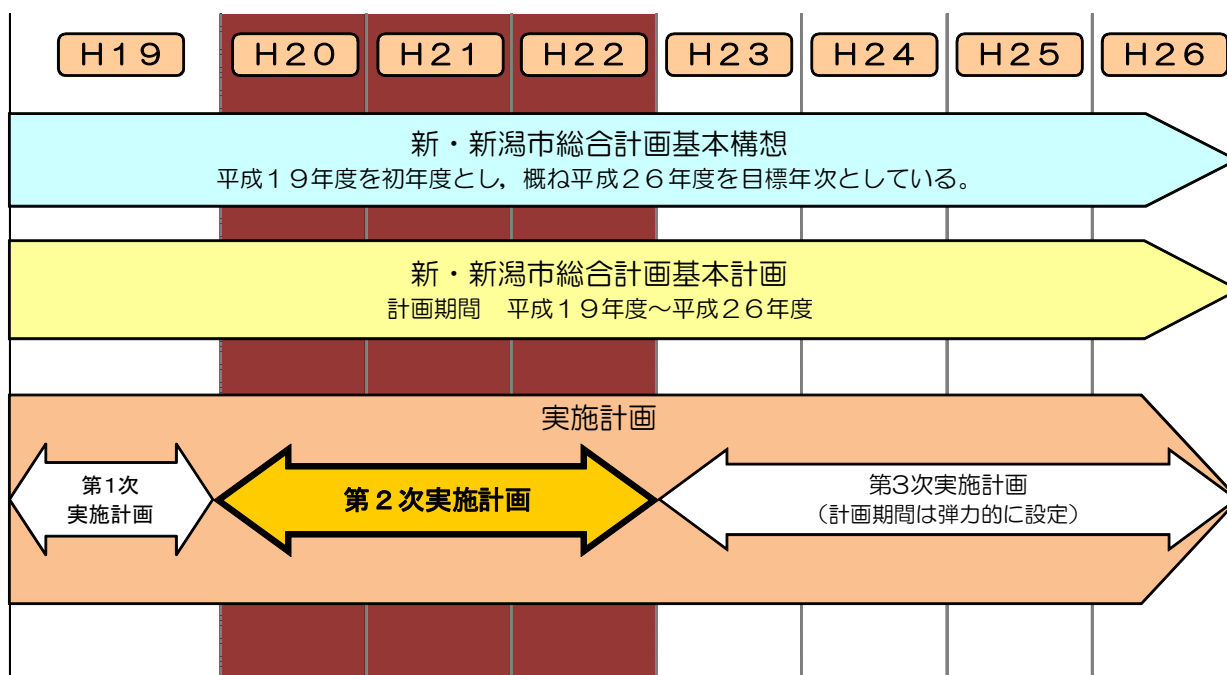


新・新潟市総合計画第2次実施計画 平成20年度実施状況について

□ 第2次実施計画の位置づけについて

新・新潟市総合計画第2次実施計画は計画本体が目標としている「基本理念」「目指すまちのすがた」「5つの都市像」の実現を目指し、平成20年度から22年度までの3カ年度の具体的な取り組みの概要を示している。



□ 進行管理の趣旨

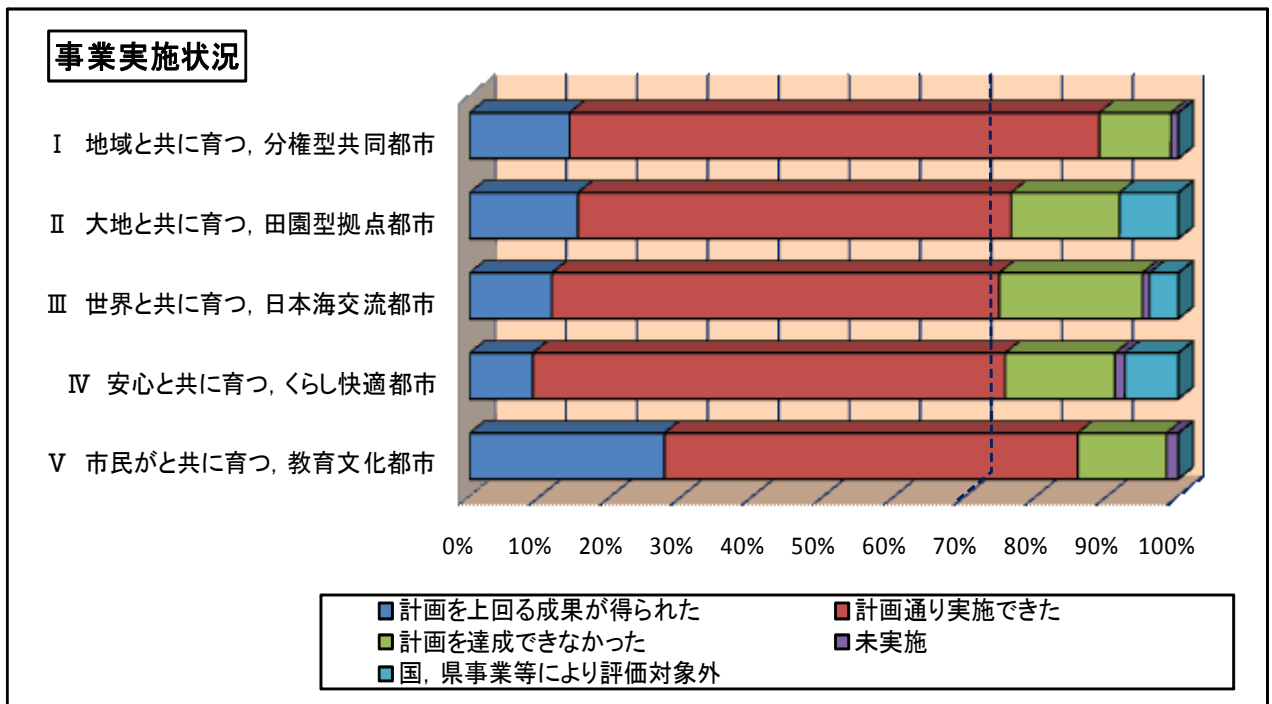
第2次実施計画で示した数値目標や各主要事業の目標達成のために、毎年度の進行管理を通じて計画の実施状況を把握しながら、効果的・効率的な計画推進を図り、事業実施の効果を最大限に発揮できるよう取り組むものとしている。

今回は、第2次実施計画の初年度となる平成20年度の実施状況について調査結果を報告する。

□ 事業実施状況及び評価について

新・新潟市総合計画の体系は、5つの都市像で853事業から形成されており、再掲を除く実事業数は547事業である。今回の評価については、全853事業のうち第2次実施計画期間の787事業を対象とし、再掲を除くと505事業であり、そのうち着手した事業は499事業である。

「計画を上回る成果が得られた」及び「計画通り実施できた」事業は5つの都市像すべてで70%を超えるなど、概ね順調に推移している。



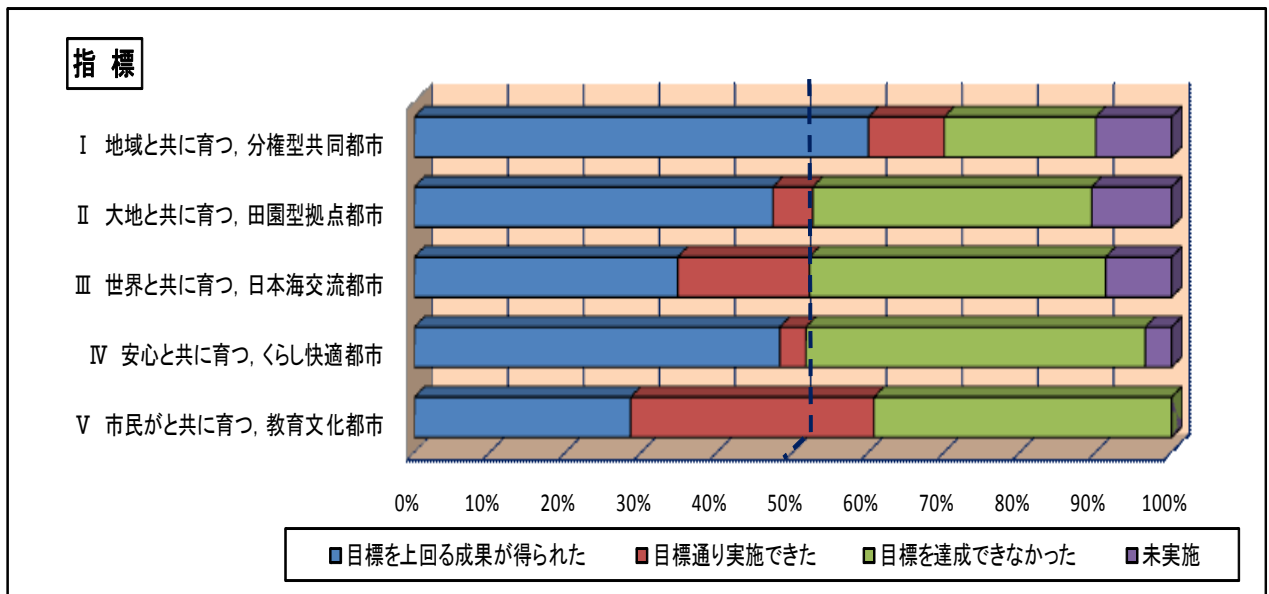
(単位:事業数)

評価 都市像	計画を上回る 成果が得られ た	計画通り実施 できた	計画を達成で きなかつた	未実施	国, 県事業等 により評価対 象外	事業数計 (再掲含む)	達成率 (%)
I 地域と共に育つ, 分権型共同都市	14	74	10	1	0	99	88.9%
II 大地と共に育つ, 田園型拠点都市	24	96	24	0	13	157	76.4%
III 世界と共に育つ, 日本海交流都市	23	125	40	2	8	198	74.7%
IV 安心と共に育つ, 暮らし快適都市	19	142	33	3	16	213	75.6%
V 市民がとと共に育つ, 教育文化都市	33	70	15	2	0	120	85.8%
全体	113	507	122	8	37	787	78.8%

□ 指標

第2次実施計画対象事業で設定した指標項目数は全109項目で、そのうち103項目に着手した。

「計画を上回る成果が得られた」及び「計画通り実施できた」指標は、すべての都市像において50%を超える結果となった。



(単位: 指標項目数)

評価 都市像	目標を上回る 成果が得られ た	目標通り実施 できた	目標を達成でき なかつた	未実施	指標項目数	達成率 (%)
I 地域と共に育つ, 分権型共同都市	6	1	2	1	10	70.0%
II 大地と共に育つ, 田園型拠点都市	9	1	7	2	19	52.6%
III 世界と共に育つ, 日本海交流都市	8	4	9	2	23	52.2%
IV 安心と共に育つ, 暮らし快適都市	14	1	13	1	29	51.7%
V 市民がと共に育つ, 教育文化都市	8	9	11	0	28	60.7%
全体	45	16	42	6	109	56.0%

□都市像ごとの評価

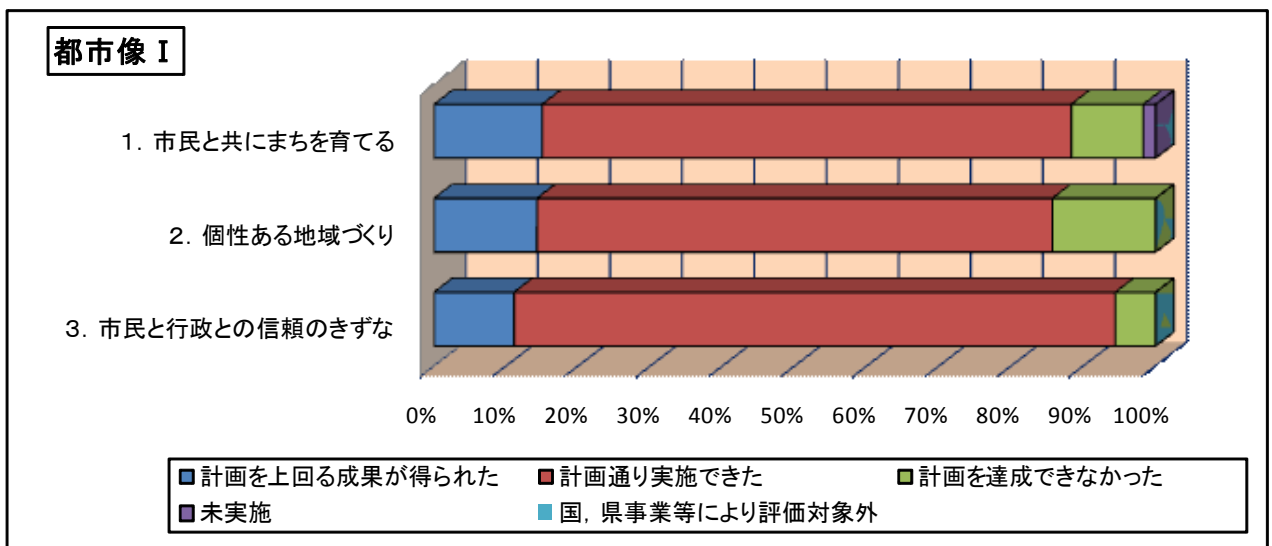
★都市像Ⅰ 地域と共に育つ、分権型協働都市

○ 都市像Ⅰが目指すまちづくり

「本市は、全ての市民の人権や能力が尊重され、また市民・地域と行政がパートナーとして互いを尊重し、それぞれの責任を自覚しながら共通の課題に取り組む、協働による自立したまちづくりを目指します。」

○ 事業実施状況について

各政策の評価としては、「計画を上回る成果が得られた」及び「計画通り実施できた」事業の割合が、全体で88.9%となり、実施結果においても計画通り順調に推移している。



都市像Ⅰ

(単位:事業数)

評価 政策	計画を上回る 成果が得られ た	計画通り実施 できた	計画を達成で きなかつた	未実施	国、県事業等 により評価対 象外	事業数計 (再掲含む)	達成率 (%)
1. 市民と共にまちを育てる	9	44	6	1	0	60	88.3%
2. 個性ある地域づくり	3	15	3	0	0	21	85.7%
3. 市民と行政との信頼のきずな	2	15	1	0	0	18	94.4%
全体	14	74	10	1	0	99	88.9%

○ 指標の進行管理

都市像Ⅰ

(単位:指標数)

評価 政策	目標を上回る 成果が得られ た	目標通り実施 できた	目標を達成で きなかつた	未実施	指標項目数計 (再掲含む)	達成率 (%)
2. 個性ある地域づくり	0	0	2	1	3	0.0%
3. 市民と行政との信頼のきずな	2	0	0	0	2	100.0%
全体	6	1	2	1	10	70.0%

- ◆ 「都市像Ⅰ 地域と共に育つ、分権型協働都市」において、指標数は10項目を設定した。
- ◆ 「目標を上回る成果が得られた」と「目標通り実施できた」を合わせると、「7項目(70%)」であった。

《数値目標》実施計画の進行管理および評価

政策名	指 標 名	現状値 (H19)	H20		H26
			計画	実績	
1 市民と共に まちを育て る	1 市民活動支援センター利用登録団体数	283団体	283団体	328団体	400団体
	2 まちづくり講座受講者数(累計)	788人	918人	924人	1,638人
	3 男性育児休業取得率	0% (H18値)	0	0	今後設定
	4 男女共同参画の啓発や人材育成の関する主催講座受講者数(延べ人数)	1,414人	1,200人	1,318人	1,200人
	5 男女共同参画推進センター相談室の相談延べ件数	1,091件	1,100件	1,367件	1,100件
2 個性ある地 域づくり	6 にいがた地元学交流会などの参加者数	150人	280人	200人	350人
	7 あるもの探し支援団体数	—	—	—	10団体
	8 地域の素材を活かすアイデアを作る事業実施コミュニティ協議会数	16	24	5	24 (H21まで)
3 市民と行政 の信頼のき ずな	9 「定員適正化計画」を実行することによる職員数の削減(職員数)	7,975	7,867	7,792	7,537 (H22まで)
	10 「新潟市行政改革プラン2005」を実行し、事業を見直すことによる人件費以外の削減額(百万円) ※H16比H17~H21の削減額累計	2,857	4,652	5,124	7,099 (H21まで)

指標が目標値を上回った主な理由として、事業を計画通りに実施したことにより目標を達成できたものであった。「男女共同参画推進センター相談室の相談延べ件数」では、計画値を大幅に上回る相談件数があり、様々な悩みを抱える相談者への支援ができた。

目標を達成できなかった「にいがた地元学交流会などの参加者数」は、地域コミュニティ推進フォーラムなどの普及啓発活動への参加者を対象としているが、現在は普及啓発から「区バスツアー」など地元学の手法を交えた事業の企画・実施への転換期であることから、目標人数の確保が難しかった。

「政策1 市民と共にまちを育てる」と「政策3 市民と行政の信頼のきずな」は、目標値を上回り順調に推移しているが、「政策2 個性ある地域づくり」については、目標値に対する実績も低く、達成度は低い。

★都市像Ⅱ 大地と共に育つ、田園型拠点都市

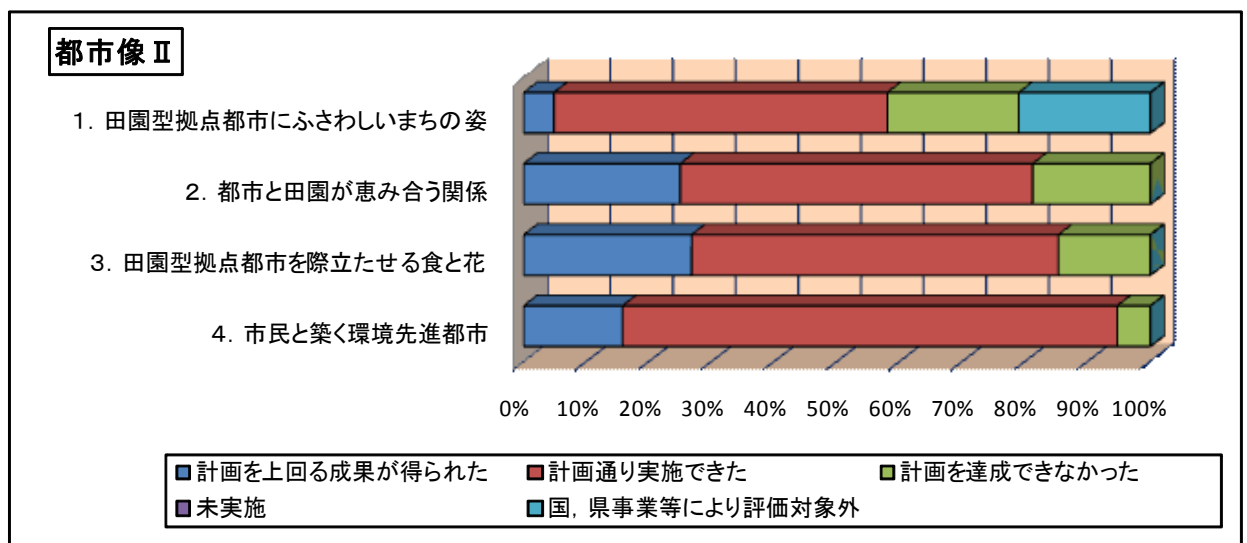
○ 都市像Ⅱが目指すまちづくり

「本市は、日本海側の拠点にふさわしい都市機能と、広大な田園や河川・潟などの水辺や海岸や里山などの自然が調和し、多様な都市型のサービスが受けられると同時に自然の恵みも享受できるなど都市と田園が互いに恵みあうまちであり、今後も「都市と自然・田園が調和するまち」を目指します。」

○ 事業実施状況について

各政策の評価としては、すべての政策で予定されていた事業が実施されたが、「計画を上回る成果が得られた」及び「計画通り実施できた」事業の割合が、「政策1 田園型拠点都市にふさわしいまちの姿」については58.1%、「政策4 市民と築く環境先進都市」では94.7%と実施状況にばらつきが目立ったが、全体では76.4%となり実施結果については概ね計画通り順調に推移している。

「計画を達成できなかった」主な理由としては、県事業費の減によるものであったが、今後、事業の進捗がより図られるように引き続き関係機関へ働きかけを行う。



都市像Ⅱ

(単位:事業数)

評価 政策	計画を上回る 成果が得られ た	計画通り実施 できた	計画を達成で きなかった	未実施	国、県事業等 により評価対 象外	事業数計 (再掲含む)	達成率 (%)
1. 田園型拠点都市にふさわしいまちの姿	3	33	13	0	13	62	58.1%
2. 都市と田園が恵み合う関係	4	9	3	0	0	16	81.3%
3. 田園型拠点都市を際立たせる食と花	11	24	6	0	0	41	85.4%
4. 市民と築く環境先進都市	6	30	2	0	0	38	94.7%
全体	24	96	24	0	13	157	76.4%

○ 指標の進行管理

都市像Ⅱ

(単位:指標数)

評価 政策	目標を上回る 成果が得られ た	目標通り実施 できた	目標を達成で きなかった	未実施	指標項目数計 (再掲含む)	達成率 (%)
1. 田園型拠点都市にふさわしいまちの姿	1	0	2	0	3	33.3%
2. 都市と田園が恵み合う関係	2	1	3	0	6	50.0%
3. 田園型拠点都市を際立たせる食と花	2	0	1	2	5	40.0%
4. 市民と築く環境先進都市	4	0	1	0	5	80.0%
全体	9	1	7	2	19	52.6%

- ◆ 「都市像Ⅱ 大地と共に育つ、田園型拠点都市」において、指標数は19項目を設定した。
- ◆ 「目標を上回る成果が得られた」と「目標通り実施できた」を合わせると、「10項目(52.6%)」であった。

《数値目標》実施計画の進行管理および評価

政策名	指 標 名	現状値 (H19)	H20		H26
			計画	実績	
1 田園型拠点 都市にふさ わしいまち の姿	1 除草剤散布から草刈やグランドカバープランツへ移行した水路の距離	50km	100km	80km	370km
	2 佐潟水鳥・湿地センター年間来場者数	70,000	70,000	75,094	90,000
	3 水の公園福島潟年間来園者数	150,000	150,000	112,372	187,500
2 都市と田園 が恵み合う 関係	4 食と農の学校の参加者数	19人	60人	44人	100人
	5 市民農園(すこやか農園)区画数	1,063区画	1,063区画	1,063区画	1,500区画
	6 収穫体験農園(市民ランド)参加数	371組	425組	503組	500組
	7 農業サポーターの人数	20人	30人	40人	300人
	8 地産地消推進の店認定数	—	50	49	90
	9 農業体験取り組み学校数	—	60	58	114
3 田園型拠点 都市を際立 たせる食と 花	10 園芸作物生産額(百万円)	24550 (H17値)	—	—	32,800
	11 食と花の国際見本市来場者数(隔年開催 1日当たり)	4,767人	—	—	6,000人 (H25)
	12 認定農業者数	2,380	2,416	3,085	2,600
	13 農業法人数	79	81	119	150
	14 水産物加工品の開発品目数	13品目	14品目	13品目	20品目

政策名	指 標 名		現状値 (H19)	H20		H26
				計画	実績	
4 市民と築く 環境先進都 市	15	下水道への接続率	87.1%	87.5%	87.7%	90.0%
	16	1人・1日あたり家庭系ごみ(可燃・不燃・粗大)排出量	673g	550g	546g	550g
	17	リサイクル率(資源化量/総排出量)	18.8%	23%	25.7%	26%
	18	廃油市民回収リサイクル量(燃料化:L)	7,000L	25,000L	35,000L	25,000L
	19	こどもエコクラブの会員数	300人	300人	197人	400人
<p>国の制度を活用するために二次的要件で目標値を上回ったものがあり、「認定農業者数」「農業法人数」は、水田経営所得安定対策への加入に向けた法人化や、認定農業への申請の増加によるものであった。</p> <p>「食と農の学校の参加者数」が目標値を下回っているが、教室の内容を充実させるため、回数を年2回から年1回にしたためであった。</p> <p>実績値は増加しているが目標値に僅かに届かなかった項目が多く、「農業体験取り組み学校数」については積極的なPRにより本事業が浸透し取り組み校数は拡大していた。</p> <p>政策別には「政策1 田園型拠点都市にふさわしいまちの姿」が、目標値と実績に開きが大きく、目標達成度は低い。</p>						

★都市像Ⅲ 世界と共に育つ、日本海交流都市

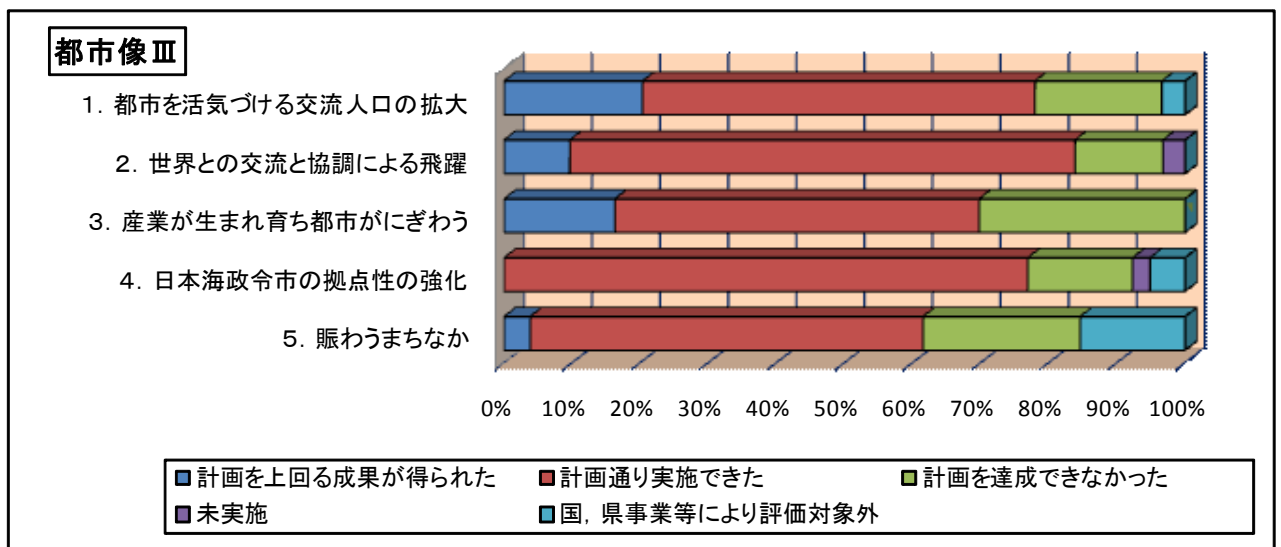
○ 都市像Ⅲが目指すまちづくり

「本市は、本州日本海側初の政令指定都市として、北東アジアに向かい合う優位性や高速交通網を活かし、多様な交流を通じて力強く発展するとともに、国内外に貢献する活力あるまちづくりを目指します。」

○ 事業実施状況について

各政策の評価は「計画を上回る成果が得られた」及び「計画通り実施できた」事業の割合は、全体では74.7%であり、実施結果については概ね計画通り順調に推移している。

「計画を達成できなかった」主な理由としては、社会経済の悪化等の外的要素が原因となるものや、事業の周知に時間を要したものなどがあつた。



都市像Ⅲ

(単位:事業数)

評価 政策	計画を上回る 成果が得られ た	計画通り実施 できた	計画を達成で きなかつた	未実施	国、県事業等 により評価対 象外	事業数計 (再掲含む)	達成率 (%)
1. 都市を元気づける交流人口の拡大	12	34	11	0	2	59	78.0%
2. 世界との交流と協調による飛躍	3	23	4	1	0	31	83.9%
3. 産業が生まれ育ち都市がにぎわう	7	23	13	0	0	43	69.8%
4. 日本海政令市の拠点性の強化	0	30	6	1	2	39	76.9%
5. 賑わうまちなか	1	15	6	0	4	26	61.5%
全体	23	125	40	2	8	198	74.7%

○ 指標の進行管理

都市像Ⅲ

(単位: 指標数)

評価 政策	目標を上回る 成果が得られ た	目標通り実施 できた	目標を達成で きなかった	未実施	指標項目数計 (再掲含む)	達成率 (%)
1. 都市を活気づける交流人口の拡大	4	0	2	0	6	66.7%
2. 世界との交流と協調による飛躍	1	1	0	0	2	100.0%
3. 産業が生まれ育ち都市がにぎわう	2	1	3	1	7	42.9%
4. 日本海政令市の拠点性の強化	1	1	3	0	5	40.0%
5. 賑わうまちなか	0	1	1	1	3	33.3%
全体	8	4	9	2	23	52.2%

- ◆ 「都市像Ⅲ 世界と共に育つ、日本海交流都市」において、指標数は23項目を設定した。
- ◆ 「目標を上回る成果が得られた」と「目標通り実施できた」を合わせても「12項目(52.2%)」であった。

《数値目標》実施計画の進行管理および評価

政策名	指 標 名	現状値 (H19)	H20		H26
			計画	実績	
1 都市を活 気づける交流 人口の拡大	1 観光入込客数	1,280万人	1,350万人	1,384万人	1,500万人
	2 宿泊者数	160万人	165万人	164万人	180万人
	3 外国人入込客数	44,000人	47,000人	40,410人	80,000人
	4 外国人宿泊者数	33,000人	36,000人	38,320人	48,000人
	5 国際規模のコンベンション開催件数	22	27	30	29
	6 全国規模のコンベンション開催件数	94	96	103	114
2 世界との交 流と協調に よる飛躍	7 国際交流会参加外国人児童生徒数	16人	16人	16人	16人
	8 国際交流会参加日本人児童生徒数	200人	200人	683人	200人
3 産業が生ま れ育ち都市 がにぎわう	9 中小企業への事業高度化や販路拡大などの支援数(会社・人)	310件	350件	360件	400件
	10 賃料補助を受けた独立創業者数	3	3	0	8
	11 インキュベーション施設を利用した独立創業者数	1	1	1	6
	12 地域商店街年間商品販売額(万円)	916,254 (H16商業統計)	—	—	1,002,350
	13 中高生の仕事感を育てるイベントの体験者数	1,643人	1,800人	1,811人	2,000人
	14 企業誘致数(国内)	10	11	6	11
	15 海外見本市参加企業数	16	18	11	24

政策名	指 標 名	現状値 (H19)	H20		H26
			計画	実績	
4 日本海政令 市の拠点性 の強化	16 都市計画道路の整備率	60.5%	61.4%	61.7%	65.0%
	17 外貨コンテナ取扱量	161千TEU	161千TEU	157千TEU	今後設定
	18 航路数（外貨コンテナ・フェリー）	11	12	11	14
	19 新潟空港利用者数	1,212千人	1,142千人	1,095千人	125万2千人
	20 バリアフリー対応バス導入率	33%	38%	38%	52% (H23)
5 賑わうまち なか	21 優良な都市型住宅の増加 【累計】	459戸	503戸	503戸	984戸 (H22まで)
	22 万代島市民市場の利用者数	—	—	—	80万人 (H24)
	23 古町商店街歩行者交通量 (1日あたり)	39,700人	40,100人	35,502人	42,400人
<p>目標値を大幅に上回った指標はないが、観光ガイドブック及びマップの作成配布や学校ボランティア等の協力により、「観光入込客数」や「中高生の仕事感を育てるイベントの体験者数」は確保できていた。</p> <p>世界同時不況及び燃油サーチャージの高騰などによる「新潟空港利用者数」の減少のように、外的要素が原因で目標値を下回った指標項目が多かった。</p> <p>「政策1 都市を活気づける交流人口の拡大」は指標数6項目のうち4項目は計画を上回っており、その他2項目についても目標値より大幅に下回ったわけではなく、達成度は高い。</p> <p>「政策3 産業が生まれ育ち都市がにぎわう」における目標値を下回った指標項目は、目標値と実績の開きが大きく、目標達成度は低い。</p>					

★都市像Ⅳ 安心と共に育つ、くらし快適都市

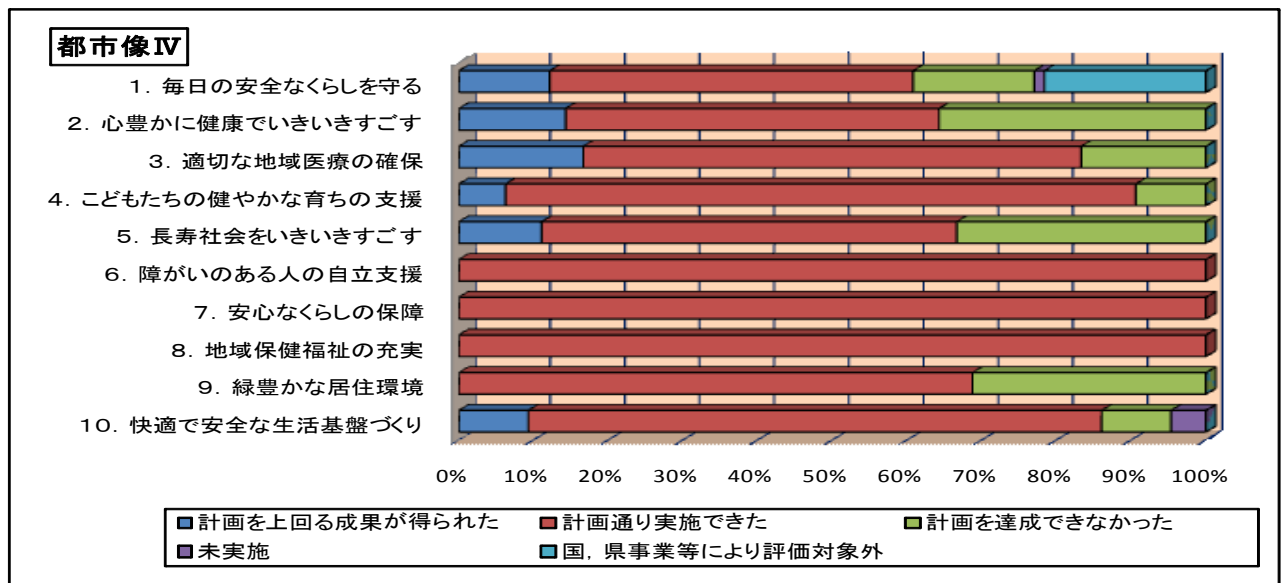
○ 都市像Ⅳが目指すまちづくり

「社会がめまぐるしく変化し、日々の暮らしにさまざまな課題が生まれる中、安心・安全でゆとりある生活の実現は、最も基本的な課題であることから、市民・地域・行政のバランスのとれた役割分担の中で、質の高い暮らしづくりを目指します。」

○ 事業実施状況について

各政策の評価としては「計画を上回る成果が得られた」及び「計画通り実施できた」事業の割合が、「政策1 毎日の安全なくらしを守る」で60.8%となったものの全体では75.6%となり、概ね計画通り順調に推移している。

「政策1 毎日の安全なくらしを守る」の「計画を達成できなかった」主な理由としては、計画の策定に時間を要したことから遅れを生じたものや、計画通り事業を行ったものの、制度の周知不足から申請件数が増加しなかったことがあげられる。



都市像Ⅳ

(単位:事業数)

評価 政策	計画を上回る 成果が得られ た	計画通り実施 できた	計画を達成で きなかつた	未実施	国、県事業等 により評価対 象外	事業数計 (再掲含む)	達成率 (%)
1. 毎日の安全なくらしを守る	9	36	12	1	16	74	60.8%
2. 心豊かに健康でいきいきすごす	2	7	5	0	0	14	64.3%
3. 適切な地域医療の確保	1	4	1	0	0	6	83.3%
4. こどもたちの健やかな育ちの支援	2	27	3	0	0	32	90.6%
5. 長寿社会をいきいきすごす	1	5	3	0	0	9	66.7%
6. 障がいのある人の自立支援	0	14	0	0	0	14	100.0%
7. 安心なくらしの保障	0	1	0	0	0	1	100.0%
8. 地域保健福祉の充実	0	4	0	0	0	4	100.0%
9. 緑豊かな居住環境	0	11	5	0	0	16	68.8%
10. 快適で安全な生活基盤づくり	4	33	4	2	0	43	86.0%
全体	19	142	33	3	16	213	75.6%

○ 指標の進行管理

都市像Ⅳ

(単位: 指標数)

評価 政策	目標を上回る 成果が得られ た	目標通り実施 できた	目標を達成で きなかつた	未実施	指標項目数計 (再掲含む)	達成率 (%)
1. 毎日の安全な暮らしを守る	3	0	2	0	5	60.0%
2. 心豊かに健康でいきいきすごす	1	0	1	0	2	50.0%
3. 適切な地域医療の確保	2	0	1	0	3	66.7%
4. こどもたちの健やかな育ちの支援	1	1	1	0	3	66.7%
5. 長寿社会をいきいきすごす	0	0	4	0	4	0.0%
6. 障がいのある人の自立支援	2	0	1	0	3	66.7%
7. 安心な暮らしの保障	0	0	0	1	1	0.0%
8. 地域保健福祉の充実	1	0	0	0	1	100.0%
9. 緑豊かな居住環境	2	0	1	0	3	66.7%
10. 快適で安全な生活基盤づくり	2	0	2	0	4	50.0%
全体	14	1	13	1	29	51.7%

- ◆ 「都市像Ⅳ 安心と共に育つ、暮らし快適都市」において、指標数は29項目を設定した。
- ◆ 「目標を上回る成果が得られた」と「目標通り実施できた」を合わせると、「15項目(51.7%)」であった。

《数値目標》実施計画の進行管理および評価

政策名	指標名	現状値 (H19)	H20		H26
			計画	実績	
1 毎日の安全 な暮らしを 守る	1 刑法犯認知件数	11,054件	10,840件	10,795件	今後設定
	2 防犯ボランティア活動参加人員	2,500人	2,700人	2,302人	5,000人
	3 自主防災組織結成率	58.6%	64.0%	67.2%	80.0%
	4 学校体育館耐震補強工事達成率	16.3%	41.9%	46.5%	100.0%
	5 都市浸水対策達成率	51.8%	51.9%	52.7%	55.0%
2 心豊かに健 康でいきい きすごす	6 児童生徒の朝食の欠食率	3.0%	2.7%	3.9%	0.0%
	7 学校給食における地産地消の推進率 (市内産食材数ベース)	11.0%	11.5%	14.5%	14.5%

政策名	指 標 名	現状値 (H19)	H20		H26	
			計画	実績		
3 適切な地域 医療の確保	8	市民病院患者満足度（外来）の向上	70%	70%	86%	80%
	9	応急手当講習修了者総数 （普通救命講習以上の受講者）	77,000名	86,000名	84,916名	140,000名
	10	救急救命士数	119名	125名	126名	161名
4 こどもたち の健やかな 育ちの支援	11	病児デイサービス実施施設数	3施設	4施設	3施設	9施設
	12	平日19時までの延長保育実施園数 （公立および私立保育園合計）	127園	146園	148園	全園数の 80%
	13	地域子育て支援センター設置施設数 （公立および私立保育園合計） ※小規模型指定施設の見直し含む	27か所	31箇所	31箇所	30か所
5 長寿社会を いきいきす ごす	14	高齢者の生きがいづくりのための講座や講演会等の参加者延べ人数	37,758人	38,800人	36,435人	41,950人
	15	新潟市シルバー人材センター会員数	4,982人	5,250人	5,023人	5,550人
	16	あんしん連絡システム利用件数	2,305件	2,360件	2,319件	2,660件
	17	高齢者虐待相談件数（新規）	129件	133件	118件	154件
6 障がいのある 人の 自立支援	18	こころの健康センター・関係機関における相談件数	9,730件	10,000件	11,072件	10,500件
	19	障がい者施設からの一般就労移行者数	18人	27人	30人	72人
	20	障がい者向けリフォーム助成件数	79件	85件	77件	95件
7 安心なくらしの保障	21	市営住宅の建替えによる入居可能世帯数	24世帯	—	—	16世帯
8 地域保健福祉の充実	22	急患診療センター利用者数	36,668人	36,668件	36,858件	増加
9 緑豊かな居住環境	23	すまいづくり教室の年間参加家族数	74家族	71家族	52家族	72家族
	24	市民一人当たり公園面積	10.51㎡	10.53㎡	10.66㎡	12.8㎡
	25	緑化活動団体数	245団体	250団体	270団体	280団体
10 快適で安全 な生活基盤 づくり	26	道路改良率 （幅員5.5m以上の道路への整備の割合）	20.5%	20.7%	19.3%	21.9%
	27	中心市街地幹線道路の無電柱化率 （商業地域における4車線以上の道路等を対象）	83.4%	86.0%	88.2%	100.0%
	28	交通安全教室実施回数	560回	580回	661回	750回
	29	下水道処理人口普及率	71.9%	73.8%	73.4%	82.7%

目標値を上回った指標は、全項目の半数に達しており、政策別にみても「政策5 長寿社会をいきいきすごす」以外は半数以上が目標値を上回った。

目標値を下回っている指標項目で、事業は計画通り実施しているが、目標を達成できないものがあった。「病児デイサービス実施施設数」については、医療機関の協力を得ることが難しく、目標値を下回る結果となった。

「政策5 長寿社会をいきいきすごす」は、指標項目において目標値と実績との開きは少ないが、すべてにおいて目標値を下回っている。

★都市像Ⅴ 市民が共に育つ、教育文化都市

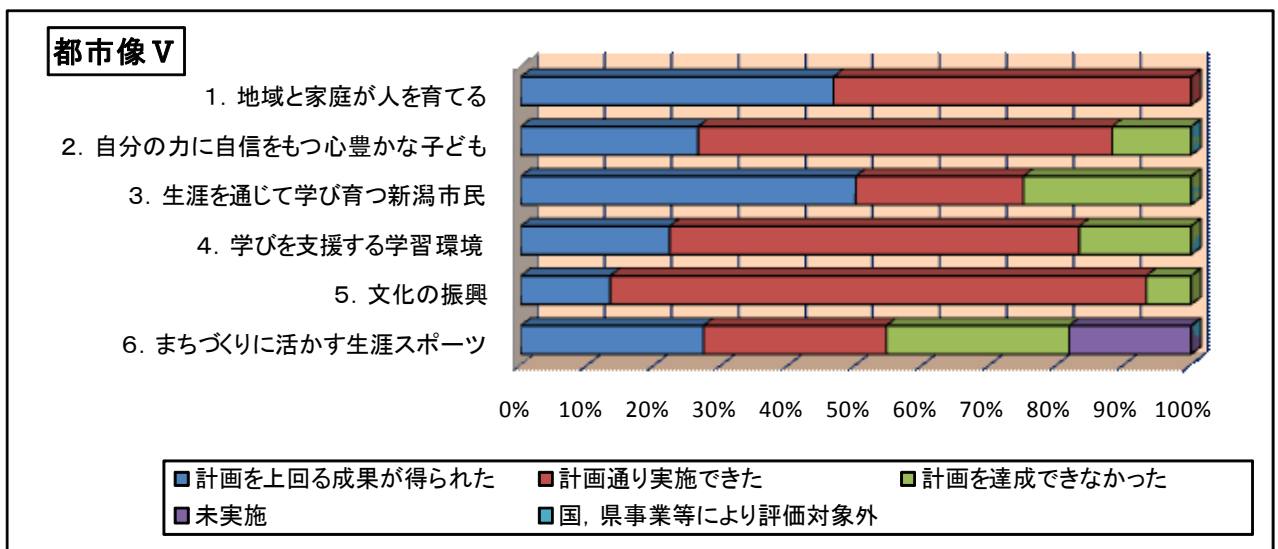
○ 都市像Ⅴが目指すまちづくり

「子どもから大人まで全ての人がある能力を磨き、実践できる環境づくりを進めるとともに、地域文化の振興や新しい文化の創出に努め、可能性と創造性に満ちた人々が、育ち活躍するまちを目指します。」

○ 事業実施状況について

各政策の評価としては、すべての政策で予定されていた事業がほとんど実施され、「前年度までに完了」したものや「計画を上回る成果が得られた」及び「計画通り実施できた」事業の割合が、「政策6 まちづくりに活かす生涯スポーツ」で54.5%と低かったものの、全体では85.8%となり概ね計画通り順調に推移している。

「計画を達成できなかった」主な理由としては、計画通り事業を着手したものの、相談事業の相談件数やイベントなどの参加者がPR不足等により見込みを下回ったものなどであった。



都市像Ⅴ

(単位:事業数)

評価 政策	計画を上回る 成果が得られ た	計画通り実施 できた	計画を達成で きなかった	未実施	国、県事業等 により評価対 象外	事業数計 (再掲含む)	達成率 (%)
1. 地域と家庭が人を育てる	7	8	0	0	0	15	100.0%
2. 自分の力に自信をもつ心豊かな子ども	9	21	4	0	0	34	88.2%
3. 生涯を通じて学び育つ新潟市民	6	3	3	0	0	12	75.0%
4. 学びを支援する学習環境	4	11	3	0	0	18	83.3%
5. 文化の振興	4	24	2	0	0	30	93.3%
6. まちづくりに活かす生涯スポーツ	3	3	3	2	0	11	54.5%
全体	33	70	15	2	0	120	85.8%

○ 指標の進行管理

都市像V

(単位: 指標数)

評価 政策	目標を上回る 成果が得られ た	目標通り実施 できた	目標を達成で きなかつた	未実施	指標項目数計 (再掲含む)	達成率 (%)
1. 地域と家庭が人を育てる	1	3	0	0	4	100.0%
2. 自分の力に自信をもつ心豊かな子ども	1	4	1	0	6	83.3%
3. 生涯を通じて学び育つ新潟市民	1	0	2	0	3	33.3%
4. 学びを支援する学習環境	1	1	2	0	4	50.0%
5. 文化の振興	3	0	3	0	6	50.0%
6. まちづくりに活かす生涯スポーツ	1	1	3	0	5	40.0%
全体	8	9	11	0	28	60.7%

- ◆ 「都市像V 市民が共に育つ、教育文化都市」において指標数を28項目設定した。
- ◆ 「目標を上回る成果が得られた」と「目標通り実施できた」を合わせると、「17項目(60.7%)」であった。

《数値目標》実施計画の進行管理および評価

政策名	指 標 名		現状値 (H19)	H20		H26
				計画	実績	
1 地域と家庭 が人を育て る	1	地域教育コーディネーターの配置校数	8校	40校	40校	172校
	2	ふれあいスクール(子ども型)実施校数	34校	38校	38校	60校
	3	ふれあいスクール(公民館出前型)実施校数	4校	8校	8校	64校
	4	生涯学習ボランティアバンク登録者数	599人	700人	714人	1,000人
2 自分の力に 自信をもつ 心豊かな子 ども	5	キャリア教育コーディネーター養成人数(累計)	100人	138人	138人	174以上 (各校1名以上)
	6	集団活動・生活体験活動を推進するジュニアリーダー登録数	12人	50人	31人	200人
	7	青少年の「居場所」開設箇所数	15箇所	16箇所	16箇所	18箇所
	8	国際子どもフォーラムに参加し、有意義だったと感じた子どもの割合	94%	94%	100%	94%
	9	中高一貫校の開設(高志中等教育学校)	—	設置(11月)	開校(11月)	開校(H21)
	10	幼・小・中一貫教育推進行々ル中学校区(校区)	2	5	5	57

政策名	指 標 名		現状値 (H19)	H20		H26
				計画	実績	
3 生涯を通じて学び育つ 新潟市民	11	生涯学習相談ボランティア数	29人	40人	29人	60人
	12	にいがた市民大学受講者数	567人	600人	508人	600人
	13	アクティブシニア講座等受講者数	63人	100人	171人	800人
4 学びを支援する学習環境	14	学校施設の大規模改修達成率	32.4%	40.0%	38.4%	100%
	15	教育関係職員向け研修プログラム受講者の満足度	70%	75%	80%	80%
	16	学社民融合研修受講者数	406人	600人	468人	770人
	17	オンリーワンスクール実施校累積	11校	11校	11校	40校
5 文化の振興	18	にいがたマンガ大賞応募作品数	294作品	300作品	340作品	320作品
	19	美術館入館者数	131,326人	132,500人	195,640人	164,600人
	20	市民芸術文化会館 コンサートホール稼働率	83.3%	78.0%	84.6%	80.0%
	21	市民芸術文化会館 劇場稼働率	75.3%	84.0%	77.6%	85.0%
	22	市民芸術文化会館 能楽堂稼働率	51.6%	57.0%	39.8%	60.0%
	23	歴史博物館企画展等観覧者数	24,597人	23,800人	22,977人	23,800人
6 まちづくりに活かす生涯スポーツ	24	新潟マラソン申込者数	5,473人	6,000人	6,353人	10,000人
	25	国体出場選手における本市出身選手の割合	42.7%	43.0%	39.7%	50.0%
	26	プロスポーツ選手等へ接する機会を提供するふれあい事業参加者数	9,934人	9,500人	6,283人	10,000人
	27	国際大会等開催数	5	7	7	7
	28	スポーツ振興会事業実施数	376	400	388	400
<p>目標値を上回った指標には、共催事業にも積極的に取り組んだ「美術館入館者数」や、事業内容を見直したことにより目標を達成した「教育関係職員向け研修プログラム受講者の満足度」及び「学社民融合研修受講者数」等があった。</p> <p>目標値を下回っている指標は、事業開催回数の減少や不況の影響を受けたため目標を達成できなかったものがあった。「プロスポーツ選手等へ接する機会を提供するふれあい事業参加者数」については、派遣指導者を確保できず派遣回数が増えたため、参加者数を確保できなかった。</p> <p>政策別にみても実績が大きく目標値から離れているものはなく、特に「政策1 地域と家庭が人を育てる」及び「政策2 自分の力に自信をもつ心豊かな子ども」については、目標達成度が高い。</p>						